

# 平成24年度 事務事業評価シート

※平成23年度に実施した事業を評価しています

事務事業名称	住宅改修補助事務				継続					
コード	53	-	23	-	03	-	00	予算事業名	商工業振興	
担当部署	産業観光部	商工振興課		商業支援担当		予算事業コード	会計 10	款 07	項 01	目 02

## 1. 事業の位置付けと関連計画等

第三次川越市総合計画後期基本計画における位置付け 位置付けなしの場合 法令による実施義務 義務ではない

基本目標(章)	4章	にぎわいに満ち、活力ある産業を育てるまち	根拠となる法令、条例等	川越市住宅改修補助金交付要綱
方向性(節)	1節	地域経済の活性化と産業振興	個別計画等の名称	なし
施策	5	工業の振興		
細施策				

## 2. 事業の目的と概要

事業の目的 (誰・何を対象に、何のために実施するのか)	地域経済対策の一環として、市内の住宅改修業者の振興を図るため
事業の概要 (活動内容、実施手段・方法など)	市内業者により住宅改修を行った者に対し、工事費の5%(上限8万円)の補助金を交付するもの

## 3. 実施にかかるコストと実績

(単位:千円)

	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
予算額	10,000	10,000	10,400	12,400	15,000	
事業費 A	9,863	9,890	10,262	12,161	15,000	15,000
人件費 B	6,290	4,070	3,330	4,070	4,810	4,440
総コスト(C=A+B)	16,153	13,960	13,592	16,231	19,810	19,440
正規職員(1年間の従事人数)	0.85人	0.55人	0.45人	0.55人	0.65人	0.60人
臨時職員(1年間の従事人数)	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
国県支出金 D	0	0	0	0	0	0
その他特定財源 E	0	0	0	0	0	0
市の財政負担(=C-D-E)	16,153	13,960	13,592	16,231	19,810	19,440

※24年度、25年度の事業費、人件費は見込額  
※臨時職員の給与も、人件費に含みます。

## 4. 成果指標・活動指標による分析

成果	中心指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	指標の定義
成果	申請件数	件	129	146	155	187	補助金申請・交付件数
成果	補助金交付額	円	9,863,000	9,890,000	10,262,000	12,161,000	補助金交付額
成果	補助対象経費	円	311,224,480	248,454,674	368,583,645	375,124,333	補助金交付決定の対象見積額
成果	1件あたりの経費	円	2,412,593	1,701,744	2,377,959	2,006,012	上記見積額の1件あたりの平均
中心指標の考え方		成果指標を中心に評価する					
指標に基づく評価		補助金に対し、約27倍ほどの住宅改修工事が実施されており、一定の効果が考えられる					

## 5. 事業の実施を通じた分析・評価

(1) 現在の課題と状況	有効性に課題 公平性に課題
補助額の上限が工事費5%で8万円が上限であり、金額的に住宅改修工事の呼び水となっているとは必ずしもいい難い。また、補助金終了後は申請の受付を行わないので、住宅改修の時期により補助金が受けられる人と、受けられない人が出てくる。	
(2) 比較参考値(他市での類似事業の例など)	埼玉県内住宅改修補助金実施状況(63市町村中) 実施 58市町 未実施 5市町村
(3) 事業を廃止・縮小したときの影響	制度創設から10年以上経過し、市内事業者にとっても、有効な営業手段として定着して来ており、影響は大きい
(4) 所属長自己評価(今後の方向性)	継続
建設業の業況は、依然厳しく、今後とも継続する必要がある	